

北海道アウトドアフォーラム 2024

趣 旨 国立日高青少年自然の家が青少年教育のナショナルセンターとしての役割を果たすべく、豊富な自然環境を有する北海道において、道内で活動しているアウトドアの担い手が、未来を担う青少年の育成にいかに関与できるのか以下3つの観点から考えていく。

- ①「アウトドアの強みを共有し、さらに磨きをかけ、強靱な業界の基盤をつくること」
- ②「アウトドアが社会にさらなる貢献をしていくきっかけの場とすること」
- ③「アウトドアが未来を担う青少年の育成について寄与していくこと」

テーマ 10年のキセキ ∞ アウトドアの未来

期 日 令和6年11月15日（金）～11月17日（日）

主 催 国立日高青少年自然の家

協 賛 アソビ・マスター、株式会社セコマ、株式会社地域環境計画、合同会社 SOTOIKU、日軽北海道株式会社、日高ハイヤー有限会社、北海道グレートアドベンチャー、有限会社北海道アウトドアアドベンチャーズ、株式会社尾関工業、株式会社泰成建設、株式会社ケイテック、株式会社秀岳荘、株式会社北海道宝島旅行社、Sotoasobu、日高エネルギー株式会社、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、折原自工株式会社、株式会社金澤鐵工商事、河上電機株式会社、合同会社うさぶカンパニー、そば処夏川、日本橋、ひだかくるみちゃんハウス、理興産業株式会社札幌支店、和風レストランふじかみ、味の素株式会社、Yogibo ヴェルサイユリゾートファーム、株式会社すまる、日高町

後 援 北海道、北海道教育委員会、国土交通省北海道運輸局、日高町、日高町教育委員会、北海道新聞社、日本野外教育学会、北海道アドベンチャートラベル協議会、北海道キャンプ協会、北海道青少年教育施設協議会、北海道体験観光推進協議会

参加者 北海道内で活動しているアウトドア関係者 99名
(アウトドア事業者、自然体験活動団体職員、野外教育研究者、行政職員、大学生 等)

プログラム

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
11/15 金						受付	オープニング	特別講演	休憩	展示 出展 紹介	交流 プログラム	オリエンテーション	入室	夕食	プレゼンテーション	情報交換会①
11/16 土	朝活 プログラム ①	朝食	自由交流 移動	選択WS ①75分	移動	選択WS ②75分	昼食	移動	選択WS ③75分	移動	選択WS ④75分	移動	夕食	自由交流	情報交換会②	入浴
11/17 日	朝活 プログラム ②	朝食	移動	選択WS ⑤75分	移動	全体WS 90分	クロージング									



◆特別講演 「限界を超える旅」

講師 三浦 豪太 氏 プロスキーヤー・博士（医学） / 株式会社ミウラ・ドルフィンズ
ファシリテーター 久保田 康雄 氏 / NPO法人千葉自然学校 理事長

◆選択ワークショップ 23タイトル (75分:20タイトル、150分:3タイトル) ◆展示ブース 9団体

◆プレゼンテーション 3タイトル ◆朝活 7タイトル ◆夜活 1タイトル

参加者の声

- ・多様な背景の人々の想いや、情報を共有できたことは大きな収穫だった。「北海道アウトドアフォーラム」は絶対に止めてはいけない。
- ・多くの分野で活躍する人々に会って話を聞き、「自分たちができていることやできていないこと」、「こんなことできるかもしれない」等に気づくことができた。
- ・再会と新しい出会いがあった。職種は違うけれど見ている方向が同じで、人のためや何かのために力をいれて取り組むかっこよさを感じた。
- ・日高山脈国立公園を、HOFのつながりを使って、世界で最も人と自然が共存できるところにしたいと思った。



【成果】 道外からもイベントに関心を持ってもらうことができ、海外からの参加者や道内在住の外国人の参加割合も増えてきた。

【課題】 また参加したいという希望はいただくものの、リピート参加率が落ちてきているので、何度も参加したくなる内容の検討をしていきたい。